

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管 課長名	渡部 朋宏
関係課	健康ふくし課					

1. 施策の目的

対象	A 町民・地域	意図	A 近所の高齢者を地域で見守っている
	B 高齢者		B 健康の維持に努めるとともに、積極的に社会参加している

2. 成果指標

2. 成果指標				上段：目標値		下段：実績値		
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 認知症サポーターの数（増加）（現状値：H30時点）	人	4,610	5,299	5,474	5,625	5,759	5,879
				6,119	6,574	7,019		
②	B 要介護の高齢者の割合（要支援を除く）（維持）（現状値：H30時点）	%	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
				16.7	15.9	15.8		
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	認知症サポーター養成講座を一般や集いの場、ボランティア団体を対象に実施したほか、町内小中学校、県立会津西陵高校の児童生徒を対象に講座を開催したことにより、幅広い世代に認知症サポーターを養成する事ができたため、目標を上回ったと考えられる。
②	以前は右肩上がりだった高齢者における要介護の割合は、目標としては現状維持であったが、介護予防事業や任意事業に積極的に取り組んできた成果として、昨年度から下がってきていると考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

新型コロナウイルス感染症が５類に移行したため、うんどう教室や集いの場などの支援や認知症サポーター養成講座など介護予防事業について積極的に実施することができた。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

昨年同様に介護予防事業について継続していくとともに、生活体支援体制の環境整備をしていくために、集いの場の設置等支援だけでなく、地域課題解決にむけて協議していく場としての協議体の設置を検討していく。生活支援コーディネーターや社会福祉協議会をはじめとする関係者により協議体の方向性をまとめ、次年度以降の設置に向け協議を進めていく。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	14446	認知症対策総合支援事業	6,184	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	14533	家族介護支援事業（家族介護リフレッシュ事業）	274	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	14539	その他事業（成年後見制度利用支援事業）	1,808	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	14565	一般介護予防事業	1,320	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	14644	生活支援体制整備事業	5,717	拡充	現状維持	②生産性改善	○
6	16716	介護保険事業	469,738	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	16717	シルバー人材センター運営支援事業	4,521	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
8	16718	ふれあい福祉基金積立金事業	700	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
9	16719	高齢者在宅福祉サービス事業	24,724	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
10	16720	老人福祉施設入所者保護措置事業	8,928	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
11	16721	敬老事業	10,861	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	16722	老人クラブ活動支援事業	205	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
13	16723	介護サービス利用者負担軽減措置事業	0	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	16727	高齢者福祉施設管理事業	11,698	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
15	16728	老人福祉施設管理事業	750	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
16	18194	会計年度任用職員（社会福祉総務費）	2,005	評価対象外	評価対象外	評価対象外	